

## 「ごあいさつ」

株主の皆様へ。

株主の皆様におかれましては、  
ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
2006年度(2006年4月1日～2007年3月31日)の  
事業概況についてご報告申し上げます。



取締役社長

梶尾和雄

## 「業績・全般概況」

### 当期の業績概要

当期におけるわが国経済は、企業収益の改善やそれに伴う設備投資の増加に加え、個人消費や雇用情勢にも改善傾向が見られるなど、景気は回復基調を示し、堅調に推移しました。海外においては、米国経済こそ減速傾向を示し先行きに不透明感を残しましたが、中国その他アジア諸国では景気拡大が続き、欧州でも引き続き回復傾向が見られました。当グループ関連市場については、携帯電話が堅調に推移し、デジタルカメラも市場が再拡大し、引き続き市場の牽引役として伸長するなど市場全体は好調に推移しました。

このような環境のもと、当グループは経営目標の達成に向け、時計、デジタルカメラ、電子辞書、携帯電話等の戦略事業を強力に推進・展開するとともに、利益率の改善、資本効率の向上など経営効率化に一層の注力を図ってきました。その結果、当期の連結売上高は、前期比7.0%増の6,207億円となりました。

利益面については、エレクトロニクス機器事業がデジタルカメラ、携帯電話の増収に伴う増益と電波時計、電子辞書における商品力の強化による付加価値の改善、開発・業務の効率化の推進など生産性の向上に努めた結果、営業利益は538億円(前期比29.1%増)、利益率で10.2%となりました。デバイスその他事業はTFT液晶の単価下落の影響とカシオマイクロニクス(株)の減益で7億円の赤字となりました。この結果、消去又は全社考慮後の連結合計として480億円(前期比11.5%増)となりました。また、経常利益は414億円(前期比6.5%増)、当期純利益は251億円(前期比5.9%増)となりました。この結果、売上高、当期純利益は4期連続で、営業利益、経常利益は3期連続で過去最高を更新しました。

これをふまえ、当社は当期の配当金を1株につき3円増配し、1株につき23円とさせていただきます。当社の増配は4期連続となります。

## CONTENTS

業績のご報告	
■ごあいさつ	1
■業績・全般概況	2
■業績ハイライト(連結)	3
■部門別の概況(連結)	4
■次期の業績見通し/中長期的経営戦略	7
現在の動向	
■当期の事業活動	9
■トピックス	11
■商品開発の軌跡	13
■CSRへの取り組み	15
DATA	
■主要財務指標(連結)/ 主要財務指標(単独)	17
■要約財務諸表(連結)	18
■要約財務諸表(単独)	20
■株式情報	21
■会社概要/主要製品(連結)/役員	22
■株主メモ	裏表紙